

# 真に必要とする方に医療を届けるために

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの医療従事者が感染し、「コロナ受入医療機関」だけでなく、**「発熱外来」や「救急医療」が非常にひっ迫**しています。

※県内の「診療・検査医療機関」：約800箇所

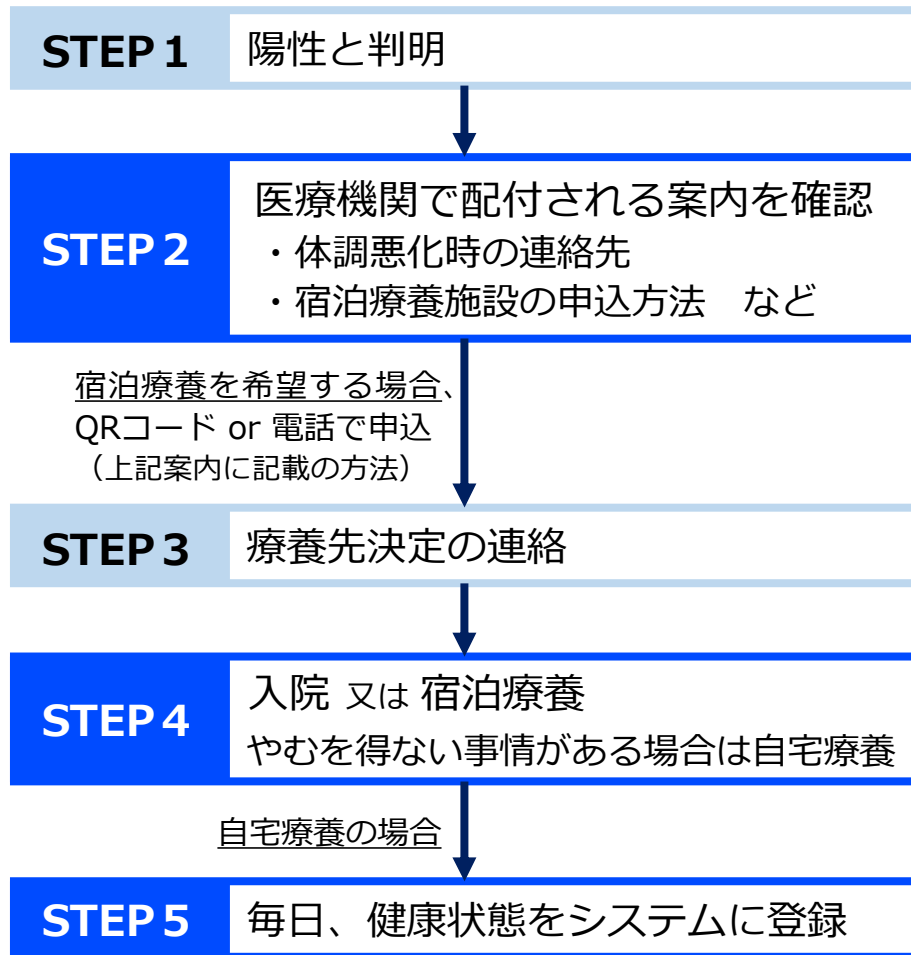
- **急病や持病の悪化、事故や事件など、真に必要とする方に医療を届ける妨げとなる**ことから、不安解消のための受診や軽症による救急要請は自重してください。

**「①65歳以上の方、②基礎疾患がある方、③妊娠している方、④症状が続く方」を除き、**  
症状が出て、すぐに発熱外来を受診せず、**まずは自宅での静養**に努めてください。

現状	お願い
<b>発熱外来</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 症状がない・ほぼないにも関わらず、<b>陽性・陰性証明の取得や不安解消のために受診する事例も存在。</b></li><li>→新規陽性者のうち、入院を要する患者の割合は低下傾向。</li><li>⇒全年齢で<b>2%未満</b>、65歳未満で<b>1%未満</b>。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>必ず事前予約</b>の上、受診してください。</li><li>• <b>無症状者は、薬局での無料検査</b>をご利用ください。 ※有症状者・濃厚接触者は不可</li><li>• 事業所は、<b>従業員に対して陽性・陰性証明を求めない</b>ようお願いします。</li></ul>
<b>救急医療</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 発熱など軽症患者の救急要請が増加し、<b>救急搬送困難事例が増加。</b></li><li>→水戸市消防局では直近5週間で164件、前年の<b>3倍超</b>。</li><li>⇒医療機関がひっ迫し、真に救急搬送が必要な患者を早急に搬送できない恐れ。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>不要不急な救急要請は厳に控えてください。</b></li><li>→すぐに救急車を呼ぶべきか迷ったときは電話相談をご利用ください。</li><li>⇒【コロナ・コロナ疑い】県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター（8時半～22時、土日祝祭日含む） <b>TEL：029-301-3200</b></li><li>⇒【それ以外】茨城県救急電話相談（24時間365日対応） <b>大人：#7119、小児（15歳未満）：#8000</b></li></ul>

# 「新型コロナ陽性」となった場合の流れ

- 本県でも延べ20万人以上が陽性者となり、日常生活で、**誰もが感染する可能性**があります。
- 陽性判明後のフロー（下図の青枠内：患者さんの役割等）を確認し、**日頃からの備え**をお願いします。



- ✓ 「65歳以上で一人暮らし」又は「重症化リスクが高く一人暮らし」の方には、強く宿泊療養をお願いしています。
- ✓ 「65歳以上 又は 重症化リスクが高い」方以外には、健康観察チームから連絡しません。

- 食料品
  - ・ ご飯、うどん、そうめん など
  - ・ インスタント食品、冷凍食品 など
  - ・ スポーツ飲料、ゼリー飲料 など
- 服用中の薬、解熱鎮痛剤
- 日用品
  - ・ ティッシュ・トイレットペーパー
  - ・ マスク、石鹼・洗剤
- その他、生理用品や乳幼児・高齢者のための衛生用品など

**自宅療養を選択する場合、療養期間分の食料・日用品を備えておく必要があります。**

＜療養期間＞

- 有症状者は発症から10日間
- 無症状者は検体採取日から7日間

# 7/22臨時会見での推計値と実績値の推移（入院患者数）

- **入院を要する患者の割合（入院率）が第6波よりも低い**ため、入院患者数は推計を下回る。  
【入院率】第6波：2.4%（60歳以上15.4%、未満0.8%）、7/31時点：1.8%（60歳以上9.6%、未満0.7%）
- しかし、**全国的に感染拡大が継続**し、ピークアウトまでの期間が延びる可能性が高いことから、**確保病床を800床から900床に拡充した**ところであり、引き続き、医師会と連携して増床を調整。

